

第1部 青年海外協力隊プロジェクトに挑戦！～いつか世界を変える力になる。～

青年海外協力隊員としてセネガルで2年間活動した内山さんの体験をもとに、自分が協力隊員としてセネガルの村に派遣されたらどうするかを考え、プロジェクトづくりに取り組みました。



ビンゴシートを使って自己紹介！



セネガル人の生活の様子や食事等に関する6枚の写真を見ながら、課題を探したよ！日本との違いにびっくり！

まずは、写真や資料から村の現状や課題を洗い出し、その後、興味がある分野の課題を選び、プロジェクトを考えました。グループ内で似ている課題に取り組む仲間と協力してプロジェクトを作成する人もいて、それぞれが個性を発揮しながら一生懸命取り組んでいました。プロジェクト作成後には、一人ひとり自分のプロジェクトを発表しました。短時間のワークショップにも関わらず、いろいろなアイデアが飛び出し、OBの方も驚いていました。

協力隊OBの方にアドバイスをもらったり、仲間と助け合ったりしながら活動プロジェクトづくりに奮闘！！



第2部 交流ティータイム☆青年海外協力隊 OB のみなさんと話そう

講師の内山さんを含む6名の協力隊OBのみなさんとグループに分かれ、交流しました。OBの方々は派遣国も職種も異なっているため、高校生は、自分が興味のあるグループを選び、参加しました。協力隊員としての活動をはじめ、現地の文化や異文化での生活体験などについて具体的にお話を聞いたり、気になることをどんどん質問したり、楽しく有意義な時間を過ごしました。



参加してくださったOBの方々



うちやま みつはる
内山 光晴さん（セネガル/コミュニティ開発）

あや りか
綾 里佳さん（バングラデシュ/感染症対策）

たか き あやか
高木 絢加さん（フィリピン/栄養士）

はやし きょうこ
林 香子さん（エクアドル/青少年活動）

みやけ やすひと
三宅 康仁さん（ホンジュラス/小学校教諭）

わだ かおる
和田 薫さん（コロンビア/環境教育）



OBの高木さんの派遣国であるフィリピンで人気のスナック菓子3種類を体験しました。

「チチャロン」と呼ばれる豚の皮を揚げたスナック菓子は、エクアドルやホンジュラスなど、中南米でも食べられているという新しい情報も！



参加者の声

- ・自分たちでプロジェクトを計画することで、実際に現場で何が必要とされているかを考えることができた。
- ・自分のプロジェクトを考えることで現実味が湧いておもしろかった。
- ・具体的に自分の夢ややりたいことがわかった。自分でプログラムを作ったのが楽しかった！
- ・たくさんの人と交流してすごく楽しかった。青年海外協力隊OBの人の話が聞けて、すごく良かった。



みんなでハイ☆チーズ♪